

令和3年度第3回龍ヶ崎市健康づくり推進協議会議案等の書面議決結果報告書

1 審査結果

- (1) 議案第1号「龍ヶ崎市第2次健康増進・食育計画における令和3年度実施状況中間報告について（書面決議）」

	賛成する	賛成しない	未回答・その他
件（人）数	15	0	0

- (2) 議案第2号「龍ヶ崎市健康増進・食育計画策定にかかる市民意識調査報告について（書面決議）」

	賛成する	賛成しない	未回答・その他
件（人）数	15	0	0

2 議案・報告に対する意見・要望について

項目	意見・要望等 ※ 原文まま
議案第1号	<p>(感想) 資料1 - 2より、コロナの影響が出ていることを感じました。3密をさげ自宅に引きこもる生活の中、コロナと共存して生きていく新しい全世代のための健康増進・食育計画も考慮したいと思います。</p> <p>(感想) 乳幼児健診、特定検診等、受診率アップに向けて、コロナ禍でご苦労されていたこと頭が下がります。そして、個々に応じたきめ細やかな対応に感謝申し上げます。</p> <p>(要望) p.52 L7 <u>医療従事者からの</u>→学校医、学校歯科医 *学校保健員会に出席し助言できるのは、学校医、学校歯科医、学校薬剤師です。</p> <p>(要望) p.60 11・給食だより」「食育だより」による朝食の重要性 市民意識調査、一般市民調査・小中学生の調査結果からも朝食の摂取が落ちている。「朝食の重要性」については、わかっているが、その先の一步が踏み出せないのではないか。小中学生の調査対象者は、小6と中3であり、既に家庭科等である程度の調理実習はしている。親を頼らず、自分の健康は自分で守り育む姿勢を次世代の子どもたちには教えていく必要があると思う。食べることは体（健康・体力）を作ることだけではない、心も脳も作ることをしっかりと教えていく必要があると考える。朝食はテイクアウト出来るもの、調理しなくても食べられるものを上手にチョイスし、組み合わせることで可能であること、その方法を教えて上げることが、朝食の重要性及び喫食率の向上につながると考える。その役目は、栄養教諭と学級担任とのT・Tの授業で可能ではないか。特に、コロナ禍で休校やリモート学習になり、厳しい家庭の子どもたちの食環境は給食がなく、かなり厳しいのではないかと考える。そのためにも、指導の重要性が急務ではないか。</p> <p>(要望) p.65 18・食物アレルギー対応、ノロウイルス等による感染症対策 今年度は特に、「新型コロナウイルス感染症予防対策を図った給食指導を、各校に徹底させました。」追記してもよいのではないか。</p> <p>(要望) p.66 19・給食訪問時の栄養指導の充実（適塩・残さず食べることの指導等） 今後、栄養教諭の食に関する指導は、好き嫌いせず食べることや健康によい食事の摂り方よりも、「朝食の大切さ」、学年に応じた指導をして頂きたい。</p> <p>(要望) p.67 20・子育てふれあいセミナーでの食育指導 栄養教諭の講話、市の統計等から将来にわたって考えると、「減塩・適塩」についての講話は大切であると思うが、当面の子どもたちの食に関する課題「朝食をたべる」その重要性に徹してはどうか。</p>

(要望) p.67 p.68 p.69 p.70

22・親子で作る給食献立の募集及び提供を市のホームページで公開

23・バランスのとれたおいしい給食の提供

24・地元農産物の消費拡大、PR

25・学校給食における地場産物の計画的な活用

26・「茨城を食べようメニュー」の募集・提供

以上について、以前にも下記のようなことを書かせていただいた。

・給食の食べ残し

SDGs 持続可能な開発目標 食品ロスの観点からも給食指導の中で人間の食べる行動 様々な動植物の命を頂いていること、食べる行動は、人の健康・心・学びも与えられていること、食べることの大切さを学ばせて欲しい。

・地産地消について

学校給食に取り入れている。なぜ地産地消はいいの「なぜ」が見えてこない

子どもたちに知らせる 「旬」を食べる 栄養価

フードマイレージ

*他教科との関連での指導

(要望) コロナ禍でもできることを推進してほしい。

・地場産物を生かした給食献立のメニュー開発に栄養教諭・学校栄養職員の方々をお願いしたい。地場産物の活用が少ないのではないかな。

・農業政策課と協議し、通年的に使用可能な産物、安価で購入できる産物等について洗い出してはどうか。100%米・野菜は地場産物を使って給食を実施している自治体もある。地産地消のためにも、市の広報誌に旬の一押し野菜が掲載されている。年間を通した地場産物を一覧にして、市民や子どもたちに知らせていってはどうかな。

・SDGsの考えを基盤として、地産地消を捉えていくと、教科や給食指導の枠組を超えて児童会活動・生徒会活動にも生かせるのではないかな。

(要望) p.85 p.92

1 .学習指導要領に基づく学習指導

・飲酒の害に関する講演会の実施

4 学習指導要領に基づく学習指導

・たばこの害に関する講演会の実施

飲酒・禁煙を含めた薬物乱用防止に関する指導が様々な形で実施できたことはよかったと考える。なお、薬物乱用防止教育については、「薬物乱用防止キャラバンカー」を使ってみるのも一つの方法と考える。



(要望) p.97・チラシや市公式ホームページ等を活用し休養の重要性に関する普及啓発 (各小中学校等)

L10、児童生徒には、学級担任、養護教諭との連携

児童生徒の学校での学習生活の場は、学級であり、養護教諭の前に学級担任が児童生徒について理解していなければならないと考える。

	<p>(文章上、気になった点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p. 52 L7 学校保健委員か→学校保健委員会 お子さん→児童生徒 *次ページにまたがっている。文章も精選した方がよいかと思う。 ・ p. 62 14・母子健康手帳交付時の面接やプレ・ママ教室での講義、妊娠中の電話等による貧血・妊娠糖尿・妊娠高血圧予防についての栄養指導（健康推進課） L16 貧血の早期発見) ●%→?
議案 第2号	<p>(感想)</p> <p>一般市民アンケートの有効回収率が約 50%というのが大変残念です。この回収率での調査から食生活や健康に関する実態を把握して資料として活用することは大変残念でありませんが、各分野の専門家の委員の皆様等と検討して、令和4年度には策定していけたらと思いましたが、最後になってしまいました。コロナという非常事態の続く中での議案第1号、2号の報告書作りは大変な作業だったことでしょう。本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。</p>

令和3年度第3回龍ヶ崎市健康づくり推進協議会議案等の書面決議の結果、「龍ヶ崎市健康づくり推進協議会条例」第6条第3項の規定により当協議会において原案のとおり同意又は承認することと決したので報告します。

令和 年 月 日

龍ヶ崎市健康づくり推進協議会

(会 長) _____

(委 員) _____

(委 員) _____